

授業科目名・形態	医療的ケアⅢ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	今野修・関口麗子・小畑千春・水木暢子	開講期	2年後期	単位数 2

【授業の主題】

本授業では、喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生を安全・適切に実施するために必要な技術習得を目的に、喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生の実施手順を演習を通して学習する。

【到達目標】

評価表項目全てにおいて、シミュレータを用いて効果的に手順通りに実施できる。

【授業計画・内容】

第1回 喀痰吸引演習ガイダンス、 実施手順と留意点の振り返り(今野)	第9回 経管栄養演習ガイダンス、 実施手順と留意点の振り返り(今野)
第2回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	第10回 経管栄養演習(今野・関口・小畑・水木)
第3回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	第11回 経管栄養演習(今野・関口・小畑・水木)
第4回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	第12回 経管栄養演習(今野・関口・小畑・水木)
第5回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	第13回 経管栄養演習(今野・関口・小畑・水木)
第6回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	第14回 経管栄養演習(今野・関口・小畑・水木)
第7回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	第15回 救急蘇生法演習(今野)
第8回 喀痰吸引演習(今野・関口・小畑・水木)	

★演習に進める要件は、医療的ケアⅠおよび医療的ケアⅡの筆記試験の合格者である。

★演習では、厚生労働省「喀痰吸引等研修実施要綱(2012.3)」に定める「基本研修(演習)の評価基準」に準じた1項目につき1人5回以上の実施を行なう。

★演習では、1項目につき1人5回以上の実施が予定回数内でできなかった場合には補習を行う。

【授業実施方法】

講義および演習

【授業準備】

本演習前に自己評価表を用いて最低2回以上は練習をしておく。

【主な関連する科目】

医療的ケアⅠ・Ⅱ、医学一般、日常生活支援技術Ⅰ-1、日常生活支援技術Ⅰ-2

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 15 医療的ケア第3版、中央法規出版、2016.2

【参考文献】

介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト第3版、中央法規出版。2015.9

【成績評価方法】

技術の達成状況(80%)、演習態度・出席状況(20%)等による総合的評価

★演習では、厚生労働省「喀痰吸引等研修実施要綱(2012.3)」に定める「基本研修(演習)の評価基準」に沿って、演習シミュレータを用いて効果的に一人で実施できるまでを到達目標として評価する。

【学生へのメッセージ】

確実な実施手順の習得のためにも、繰り返しの練習に努めてください。また、演習を通して、看護職とどのように協働していくべきかについても学んでいてもらいたいと思います。